

2. 教育実習指導

センターが担当する教育実習指導は、各学部における運営担当部署（教育実習委員会・教務委員会等）と連携を図りながら実施している。教育学部と、農学部・人文社会科学部・理学部との間では教育実習カリキュラムが異なっており、センターの関わり方、担当する指導場面等も異なっている。以下、教育学部とその他の3学部に分けて、今年度の取り組みの概要を述べる。

【教育学部】

※教育学部においては、「教育実習委員会」が教育実習の運営業務にあたるが、全学教職センター専任教員2名（昌子佳広、五島浩一）が同委員会に所属し、事前事後指導を担当している。

(1) 事前指導（1年次対象）：「教育実習指導Ⅰ」

- ・受講者は、学校教育教員養成課程1年次（全学生必修）、養護教諭養成課程1年次（希望者：中学校・高等学校教員免許取得予定者）、大学院教育学研究科1年次「教員免許取得プログラム」受講者（教育実習履修予定者）、計約300名。
- ・4月28日（水）、Microsoft Teamsによるオンラインで、4年間の教育実習カリキュラム全体の説明を含めた授業ガイダンスを行った。
- ・7月14日（水）、同じくオンラインで第1回授業（講義）を実施。この授業での到達目標ならびに教育実習・教職課程全体に対する取り組みの心構え等について指導を行い、夏期休業期間中の課題（恩師一小学校・中学校・高等学校時代に指導を受けた先生一にインタビューを行い、その成果をレポートにまとめる）を提示した。
- ・7月21日（水）同じく、第2回授業（講義）を実施。9月に行う附属小・中学校訪問、見学のための事前指導を行った。今後、教育実習そのものを含め、学校現場へ出向き、見学等を行う機会が多くあるので、その際の基本的な心構えや留意すべき事項（服装、学校内での言動、見学・参観の観点など）について指導した。
- ・9月6日（月）～10日（金）、附属小学校・中学校訪問・見学（授業参観）を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出より一時延期、その後年度内の実施は難しいと判断して、代替の活動を行うこととした。
- ・上記に対応するものとして、附属小・中学校校長（大学教員兼務）の学校運営状況に関する講話と、両校が7月・8月に実施したオンラインによる研究発表会における公開授業動画を視聴し、コース・選修ごとにその内容に基づく学習会を行うこととした。
- ・10月27日（水）、第3回授業を実施（オンライン）。上記の各学校長講話と、授業動画視聴に関する事前の指導を行った。
- ・10月28日（木）～11月26日（金）を授業動画視聴期間とし、各学生が任意の時間に選択した授業動画を視聴した。
- ・11月29日（月）～12月3日（金）、コース・選修別に学習会を実施した。
- ・12月13日（月）～1月12日（水）、4年次の教育実習（茨城県内協力小学校・中学

校での実習，希望者対象の帰省（母校）実習）に対する事後指導と兼ねた形で，4年次の実習成果を聞く学習会（グループ懇談・討議など）を行った。

(2) 事前指導（2年次対象）：「教育実習指導Ⅱ」

- ・受講者は，学校教育教員養成課程2年次（全学生必修），養護教諭養成課程2年次（希望者：中学校・高等学校教員免許取得予定者），大学院教育学研究科1年次「教員免許取得プログラム」受講者（教育実習履修予定者），計約300名。
- ・4月27日（火），Microsoft Teamsによるオンラインにて授業ガイダンスを行った。
- ・6月1日（火）より，定期授業を開始した。オンライン実施を基本とし，教職全体に関わる講義，演習（グループ討議など）を行った。
- ・7月7日（水）午後，水戸市内公立小中学校31校に分散して，見学・授業参観，教育活動への部分参加等の活動を行った。
- ・10月20日（水）午後，同38校に分散して2回目の活動を行った。
- ・12月2日（木），同43校に分散して3回目の活動を行った。今回は午前午後を通じて1日の日程で行った。
- ・1月19日（水），3年次の教育実習（附属小学校，中学校での実習）に対する事後指導と兼ねた形で，3年次の実習成果報告を聞く学習会（グループ懇談・討議など）を行った。

(3) 教育実習事前（直前）指導・事後指導（3年次・4年次対象）

- ・4月21日（水）および6月30日（水），4年次対象の協力校実習事前指導をオンラインで実施した。必要な事項の連絡、心構え、実習生相互の顔合わせと連絡体制の確立（代表者の決定、連絡網の作成）などを行った。
- ・6月9日（水），3年次附属小学校・中学校実習に対する事前（直前）指導をオンラインで実施した。
- ・12月13日（月）～1月12日（水），4年次実習（秋期協力実習校および帰省（母校）実習を含めた4年次での実習全体）に対する事後指導を実施した。コース・選修に分かれて学習会とし，前述(1)の通り，1年次学生が参加した。
- ・1月19日（水），3年次附属小学校・中学校実習に対する事後指導を実施した。3講時にコース・選修別の学習会（前述(2)の通り，2年次学生を交えての報告会）を対面（一部オンライン）で行い，4講時に全体会（附属小・中各校の教育実習主任による講話）を行った。

(4) その他

- ・教育実習に関する学生個別の相談（教材研究や授業構想に関する事，児童・生徒指導に関する事，など）に対応した。
- ・3年次の附属小学校・中学校実習に関しては，随時学校へ出向き，学生の様子を見るとともに，各校の先生から指導状況について聴き取り，確認を行った。
- ・研究授業のVTR撮影を行った（全学生の授業をデジタルビデオカメラで学生相互に撮影，終了後DVDに録画，保管する）。
- ・上記のVTR（DVD）の貸出（学生または学生の指導教員等）・管理を行った。

【農学部・人文社会科学部・理学部】＊工学部は教育実習実施者はなし

(1) 教育実習事前指導Ⅰ・前半（3年次対象）

- ・4月14日、Microsoft Teamsによるオンラインで実施した。次年度に教育実習を行う希望・予定の3年次学生に対して、教育実習に向かう心構えに関する指導、現時点までの単位修得状況（教育実習履修要件）の確認、本年度当初（7月まで）に行うべき、教育実習先学校（母校である高等学校か中学校）への事前申込み・内諾を得る手続き等の説明・伝達を行った。

(2) 教育実習事前指導Ⅴ（4年次対象）

- ・4月14日、Microsoft Teamsによるオンラインで実施した。本年度に教育実習を行う4年次学生に対して、直前段階での心構えや、具体的な準備内容についての伝達や指導、大学側と実習校側で取り交わす文書の確認などを行った。

(3) 教育実習事前指導Ⅰ・後半（3年次対象）

- ・6月18日（金）～7月16日（金）、「セルフラーニング」（Microsoft Teamsに資料を掲載し、各学生の任意の時間に取り組む）によって実施した。教育実習事前指導Ⅱまでに各自で取り組む課題（恩師—小学校・中学校・高等学校時代に指導を受けた先生—にインタビューを行い、その成果をレポートにまとめる）の内容、取り組み方について伝達した。

(4) 教育実習事前指導Ⅱ(1)（3年次対象）

- ・12月19日（日）、Microsoft Teamsによるオンラインで実施。実習校への事前申込みの手続きを行い内諾を得た学生に対して、教育実習における学修内容を改めて説明し、実習に対する自らの目標を明らかにすることなどについて指導した。次に、(4)における事前課題の成果に基づく話し合い（グループ協議）を行った。

(5) 教育実習事後指導（4年次対象）・兼 教育実習事前指導Ⅱ(2)（3年次対象）

- ・12月19日（日）、Microsoft Teamsによるオンラインで実施。前半は本年度に教育実習を行った4年次学生のみを対象とし、教育実習期間を通じて記録・作成した『教育実習履修簿』や、実習終了直後に作成・提出したふりかえりレポートに基づいて自己の学習成果を整理した。後半から3年次が加わり、4年次から3年次へ教育実習における体験・成果報告、3年次からの質問や相談などをグループ（4年次・3年次それぞれ4～5名程度）単位で行った。

(7) 教育実習事前指導Ⅲ（3年次対象）

- ・2月、Microsoft Teamsによるオンラインで実施。(5)において記述したレポートに基づき、自己の教育実習における目標の再確認、見直しを図り、目指す教師像や、自らのもつ教育観を確かにすること、また履修簿を参照しながら教育実習の具体について見直しを持ち、道徳を例として授業づくりの基礎的・基本的な考え方について指導した。

(7) 教育実習事前指導Ⅳ（教科別）（3年次対象）

- ・ 2月14日（月）～2月22日（火）に対面またはオンライン（Microsoft TeamsまたはZoomミーティング）で実施した。教育実習における授業実習で担当する教科（教員免許状取得予定教科）ごとに期日を設定し、各教科指導を専門とする外部講師（中学校・高等学校の現役の先生など）から3コマ分（90分×3回）の指導を受ける機会を設けた。各教科における指導の目標や、教科における指導内容の枠組み、教材研究のあり方、学習指導案の一般的な形式や作成の仕方、授業における留意事項などの理解、模擬授業の体験などを主な内容として実施された。

(8) 教育実習ガイダンス（2年次対象）

- ・ 2月14日（月）に実施。Microsoft Teamsによるオンラインで行った。4年次で教育実習を行うためには、2年次末の段階で実習校（母校）に仮申し込みをしなければならないので、その手続きに関する説明をした。

【成果・総括】

本年度も、新型コロナウイルス感染拡大の問題に関わって、4年次学生の教育実習日程の変更・調整が数多く必要であり、大学における事前・事後の指導もオンライン方式を中心とせざるを得なかったが、前年度の実施状況や対応に準じて行い、各学部の教育実習運営担当部署（教育実習委員会、教務委員会）や事務部と連携・協力し、大きな混乱はなく無事に全ての教育実習を実施できた。

教育実習を終えた学生は、実習を通じて自らの教職適性を見極め、あるいは教職に就くことを断念する学生もあるが、多くの学生にとって教育実習は有意義で充実したものであり、教職への志向をより高める方向に機能している。さらなる指導と支援に注力していきたい。